



おおさか・すいたハウス移転支援 平成28年度 活動報告書

平成29年5月

「おおさか・すいたハウス」移転支援寄附について

「おおさか・すいたハウス」は、重度の心臓病などにより国立循環器病研究センターに入院する小児患者のご家族が利用できる滞在施設です。

同ハウスは、善意の寄附とボランティアスタッフにより運営されており、病気のお子さんにつき添うご家族が安心して過ごせる“我が家のようにくつろげる第2のわが家”を目指した運営を行っています。

同センターの北大阪健康医療都市（健都）への移転（平成31年7月予定）に伴う同ハウスの移転を実現するため、寄附を募集しています。



寄附総額（平成29年5月15日現在）

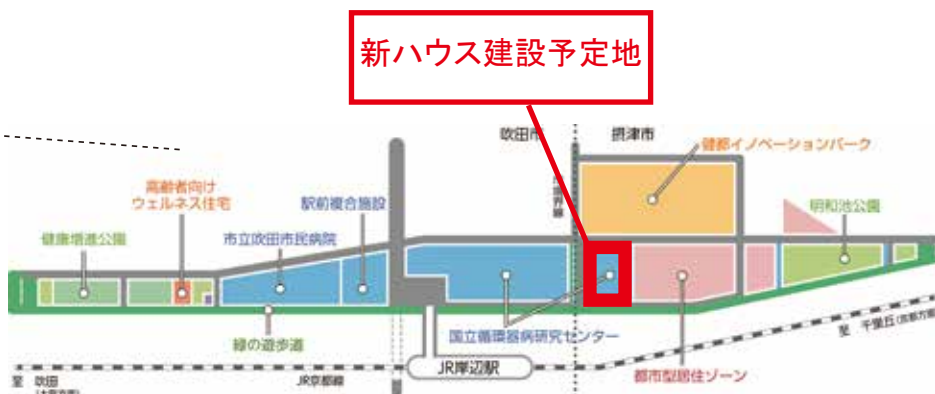
172,602,200円

あたたかいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまのご支援によりまして、目標額2億円まで残り約**3千万円**となっています。

新ハウス建設予定地

新ハウスは国立循環器病研究センターの一部用地に建設が予定されています。



平成28年度の主な取組

●おおさか・すいたハウス移転支援募金委員会の設立

移転支援の趣旨に賛同した関西の経済界、医療関係団体、企業等を発起人とした募金委員会が設立されました。吹田市にゆかりのある落語家の桂米團治さんや元プロ野球選手の宮本慎也さんも委員として参加しております。



●イベントでの募金活動

大阪府内の様々なイベントにおいて、移転支援のPRや募金活動を行いました。



●ポスターの掲出やチラシの配布

移転支援の趣旨に賛同いただいた団体や企業において、ポスターの掲出やチラシの配布を行っていただきました。

「おおさか・すいたハウス」関係者・利用者のコメント



国立循環器病研究センター
教育推進部長
小児循環器部 白石 公

国立循環器病研究センターには、全国からたくさんのお子さんたちが入院してきます。マクドナルドハウスは病院に近い宿というだけでなく、病気のお子さんを抱え不安な日々を送るご家族をボランティアの方々が暖かく迎え、リビングではご家族同士が話し合い励まし合うことで心のふれあいと支え合いができる、たいへん意義深い施設です。皆さまのおかげで目標の募金額までと少しです。引き続き皆様のご協力をお願いします。



オウガくん

5歳になった息子は、生まれてすぐに心臓病が発覚。今までに何度も手術や治療で入院し、その度にハウスを利用させていただいています。ハウスがあるおかげで、一日息子に付き添うことができ、また、同じ境遇のお母さんたちとハウスでたくさんのお会いがあり、あたたかいスタッフさんやボランティアさんがいてくれるので、私も安心して入院生活を送ることができています。

(ハウス利用者 ユミさん)

吹田市
北大阪健康医療都市推進室

〒564-8550 大阪府吹田市泉町1-3-40

TEL: 06-6318-6317 FAX: 06-6368-9901

E-mail: kento-kifu@city.suita.osaka.jp



すいたハウス移転寄附

検索